

SA

高有機質土用 (腐植土用セメント系固化材)

ソリッドエース #220



麻生セメント株式会社



腐植土用セメント系固化材

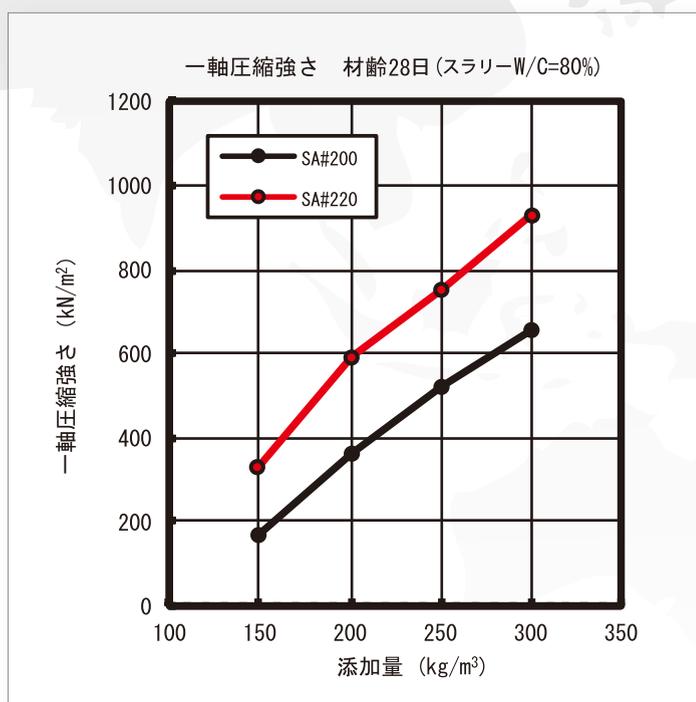
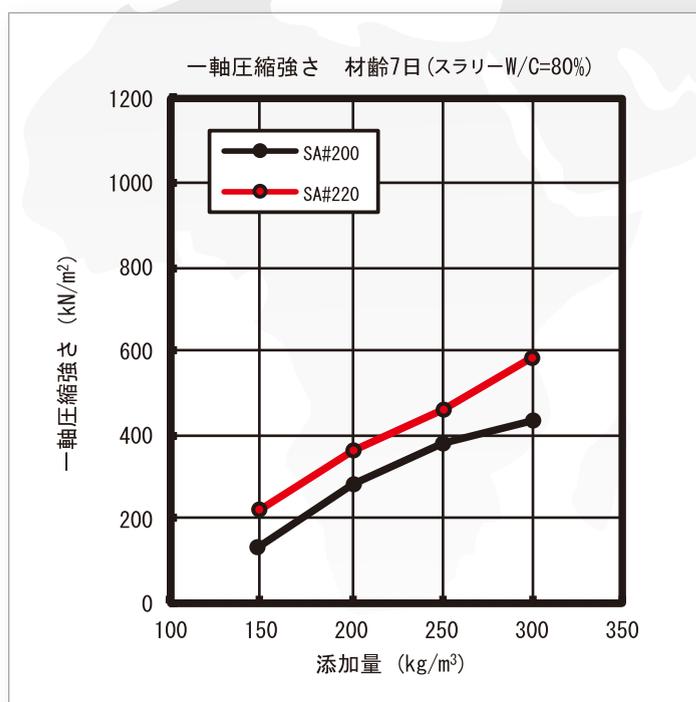
ソリッドエース #220

ソリッドエース#220はそうら層などの極めて固く化しにくい高有機、高含水な土を対象としたセメント系固化材です。腐植土、高有機質土やヘドロなど広範囲な土壌に対応可能です。従来品では強度が不足する、または添加量が非常に大きくなり施工上問題が生じる、そのような時にソリッドエース#220が特に有効です。高い強度発現性により、添加量削減に効果を発揮し、より経済的にご使用いただける特別な固化材です。

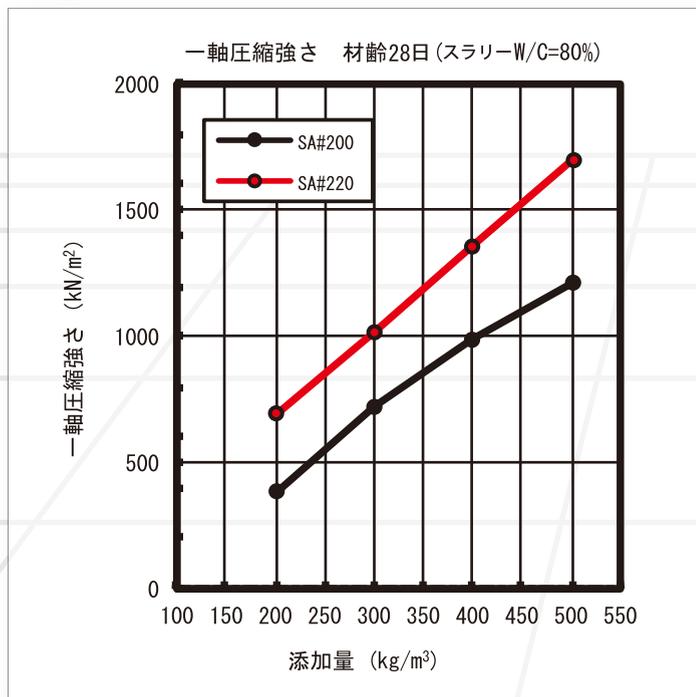
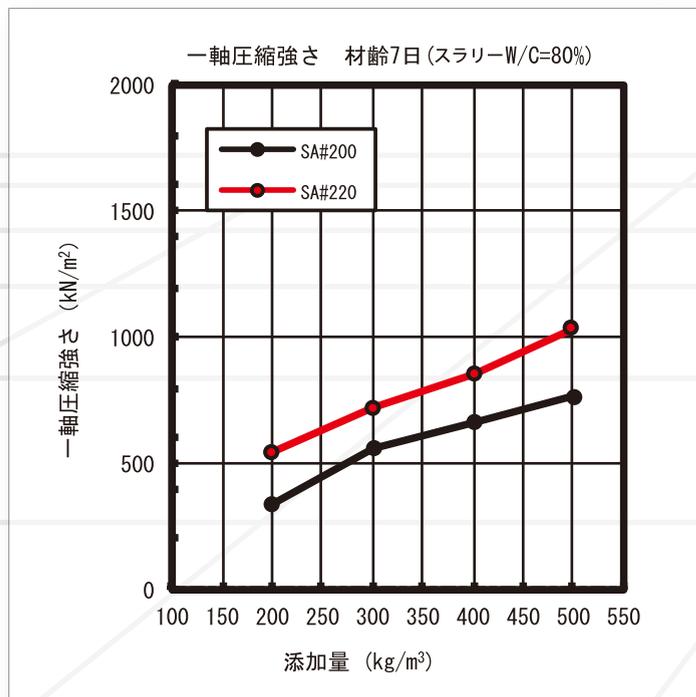
本商品は、六価クロムの溶出低減もそなえた六価クロム溶出低減型腐植土用固化材です。

■室内配合試験例

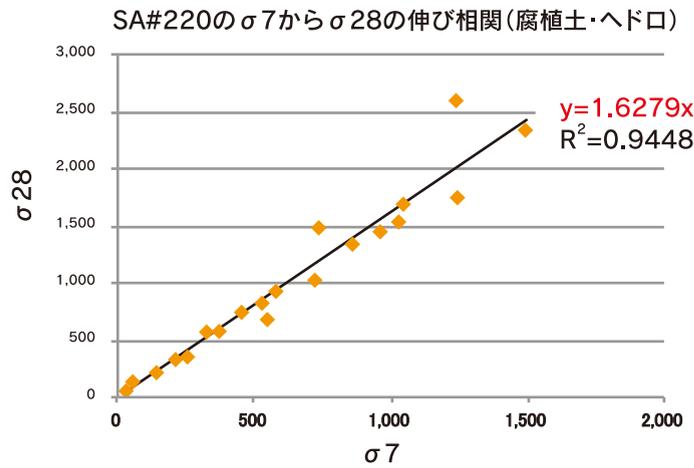
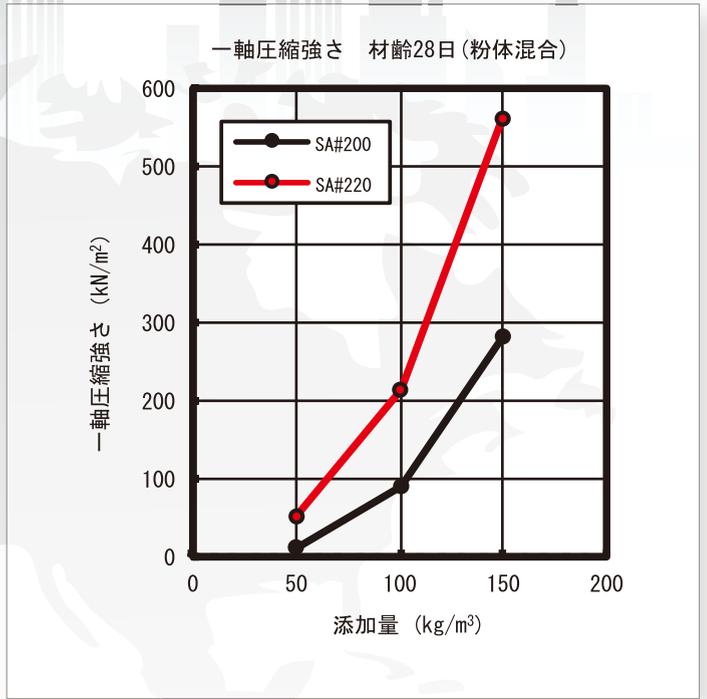
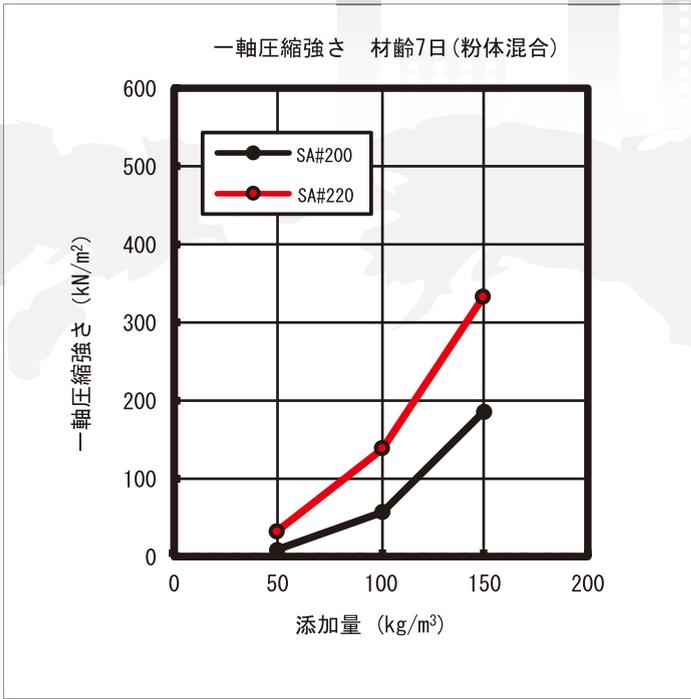
腐植土(そうら層) $\gamma_t=1.098\text{g/cm}^3$ $W_n=348\%$



腐植土(そうら層) $\gamma_t=1.152\text{g/cm}^3$ $W_n=212\%$



池 堆積ヘドロ $\gamma_t=1.197\text{g/cm}^3$ $W_n=187\%$



■ソリッドエース#220 を用いた改良土からの六価クロム溶出試験例

	土質	湿潤密度 (g/cm³)	含水比 (%)	添加方法	添加量 (kg/m³)	改良土からの六価クロム溶出量 (mg/l) ※
1	ヘドロ	1.197	187	粉体	150	0.02 未満
2	ヘドロ	1.171	208	粉体	200	0.02 未満
3	腐植土	1.098	348	スラリー W/C80%	300	0.02 未満
4	腐植土	1.152	212	スラリー W/C80%	300	0.02 未満
5	腐植土	1.087	370	スラリー W/C80%	400	0.02 未満

※環境庁告示 46 号法に準拠、土壤環境基準 0.05mg/l 以下

ソリッドエース取扱い上のお願い

1.使用上のお願い

- ①ソリッドエースは、地盤改良するためのセメント系固化材であり、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
- ②ソリッドエースと対象土の混合割合は、改良効果に大きく影響しますので均一に混合してください。また、混合不良や過剰添加した場合に膨張を起こすことがありますので、適正な添加量でご使用ください。
- ③ソリッドエースをご使用の際は、必ず事前試験を行い、改良土からの六価クロム溶出量が土壌環境基準値以下であることをご確認ください。土壌環境基準値を超えた場合は使用しないでください。

2.安全衛生上のお願い

本製品の安全な取扱いについては、弊社ホームページの安全データシート(SDS)をご確認ください。

- ①ソリッドエースを直接、目、鼻、口に入れたり、皮膚に触れないようにしてください。
- ②ソリッドエースは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、皮膚、目、呼吸器などを刺激し、炎症を起こすことがあります。
- ③ソリッドエースが目、鼻、口に入ったり、皮膚に触れた場合は、すみやかに水で洗浄し、専門医の診察を受けてください。
- ④ご使用に際しましては、防塵メガネ・防塵マスク・手袋などの保護具を着用して

ください。

- ⑤ソリッドエースには、極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合は、アレルギーが起こる可能性があります。

3.保管上のお願い

現場などで保管する場合は、水が浸入しないようにパレット敷きなどでかさ上げしてください(直接、地面に置かないでください)。また、雨が降る恐れがある場合は、ビニールシートなどで覆い、ロープで固定してください。

フレキシブルコンテナの取扱い上のお願い

1.吊上げ・吊下げの場合

吊ロープ、吊ベルトのフックは正しく掛け、片吊、急な吊上げ・吊下げ、横引きはしないでください。

2.排出する場合

吊上げたフレコンの下に入って開口作業をしないでください。また、開口部が地面にふれないよう吊上げ排出し、内容物は残らぬように全部排出してください。

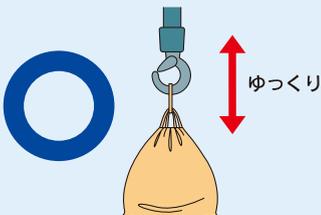
3.残材処理について

ご使用後のフレコンや残材は法律に基づき適切な処理をお願いいたします。

1.吊上げる場合



■吊ロープのフックを正しく掛け、片吊はやめてください。



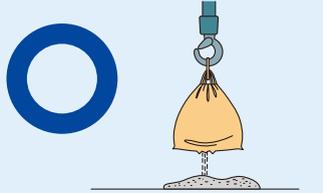
■急な吊上げ、吊下げ、横引きはしないでください。



2.排出する場合



■吊上げたフレコンの下に入らないでください。

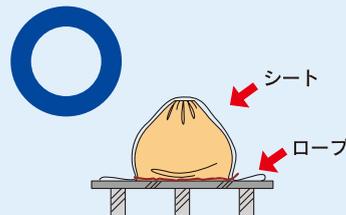


■発塵防止の為できるだけ低い位置で排出してください。



■内容物は残留しないよう全量排出してください。

3.保管する場合



■仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。



麻生セメント株式会社

本社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F TEL092(833)5100 FAX092(833)5116
福岡支店	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F TEL092(833)5110 FAX092(833)5119
鹿児島営業所	〒891-0131 鹿児島市谷山港 2-26 TEL099(262)0777 FAX099(262)0779
大阪支店	〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-5-13 創建御堂筋ビル 3F TEL06(6222)2211 FAX06(6222)2202
中国支店	〒730-0037 広島市中区中町 7-22 住友生命平和大通りビル 4F TEL082(247)9447 FAX082(247)1968
四国支店	〒760-0050 高松市亀井町 8-11 B-Z 高松プライムビル 5F TEL087(813)0295 FAX087(813)0251
苅田試験室	〒800-0311 福岡県京都市郡苅田町長浜町 10 TEL093(435)1630 FAX093(435)1710
堺試験室	〒592-0001 大阪府高石市高砂 2-8 TEL072(268)1639 FAX072(268)1406